

**令和2年度Sport in Life推進プロジェクト
(スポーツ実施を阻害する課題解決のための実証実験)**

「Soccer Boys Community」

「YMFG ZONEプランニング」

2021年2月12日

事業概要

少年サッカークラブに所属する子どもの保護者（女性）をターゲットとして、プロサッカーチームと連携したイベント（体操等のトレーニングの紹介など）の開催および親子で一緒にできるトレーニング動画の配信等を行い、スポーツへの参加および定着を図る。

実証フィールド

山口県内の少年サッカークラブ（レノファスクール、亀山FC）

代表団体

株式会社YMFG ZONEプランニング

構成団体

株式会社レノファ山口、株式会社山口銀行、株式会社データ・キュービック、株式会社Fusic

ターゲット

女性（少年サッカークラブに所属する子供（小学生）を持つ保護者（女性））

プロジェクト 実施内容

①イベント開催

- ・事前にWebコンテンツで配信したレノファ体操に取り組む子ども及び保護者（女性）を対象に、レノファ山口FCの選手も参加するイベントを実施。
- ・レノファ体操を継続的に行った親子には、イベント時にレノファ山口FC選手のサイン入りサッカーボールがもらえる等、イベント参加をきっかけに、動画配信への関心度を高めることでスポーツの継続および意欲向上を促す。

②プロサッカー選手による体操動画コンテンツ配信

- ・レノファ山口FC選手の体操レッスン動画配信により、家事・育児・仕事等で忙しい女性でも、自宅で子供と一緒に手軽に楽しむことができるスポーツをWebコンテンツとして提供。

③スケジュール・集金機能コンテンツ配信

- ・子供が所属する少年サッカークラブのスケジュール管理、集金（遠征費等）がオンライン上で行える既成の無料Webコンテンツを紹介し、保護者の利便性を向上することで保護者の負担を軽減し、「スポーツ」「親」「子供」の循環型コミュニティを形成。

<イベント開催>



<動画コンテンツ配信>



2. スポーツ実施頻度や実施意欲の改善効果

- 実証プログラムの実施によりスポーツ実施率は51%改善。
- 親子サッカーなどのイベント開催により、子供のスポーツに対する興味関心が高まり、親子でスポーツをするきっかけとなった。
- アンケート調査による女性の関心度の高い運動方法を把握し、動画配信することで、20%のスポーツ実施率上昇。

効果検証の概要

ターゲット	項目・現状	目標	実績	効果検証方法
少年サッカークラブに所属する子供を持つ保護者（女性）	スポーツ実施率 0%	スポーツ実施率 25%改善	スポーツ実施率 51%改善	事前アンケートにおけるスポーツ未実施者を対象に追跡アンケートを実施のうえ、調査結果から効果を検証
	子供のスポーツに対する関心度	—	関心度が「高まった」 67%	プログラム実施後の最終アンケートにより効果を検証
	スポーツ実施率向上に寄与する動画コンテンツの把握	—	関心度の高いコンテンツ配信によりスポーツ実施率が約20%増加	プログラム実施中の定期的なアンケートにより、関心度の高いコンテンツを調査のうえ、配信内容を変更
	スケジュール管理・集金機能によるスポーツ実施率向上	—	「スポーツ実施に繋がった」 20%	無料アプリを紹介、導入してもらうことにより、利用者の負担軽減・スポーツ実施率への影響をアンケートにて調査

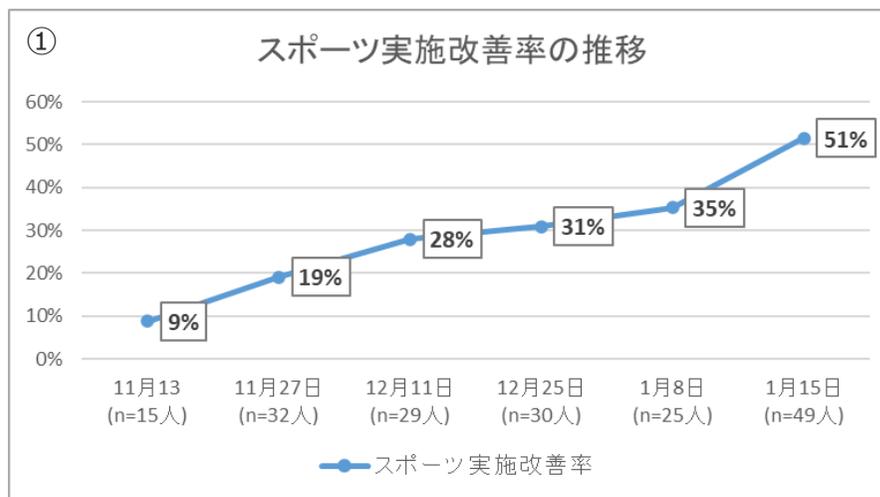
効果検証の結果

スポーツ実施率

事前アンケートでスポーツをしていないと回答したターゲット（スポーツ未実施者）68人について、本事業プログラムを実施したことにより、新たにスポーツを実施した人が計35人増加した。（スポーツ実施改善率※ 51%）

$$\text{※ スポーツ実施改善率} = \frac{\text{新たなスポーツ実施者数（累計）}}{\text{スポーツ未実施者数（68人）}}$$

ターゲット…女性

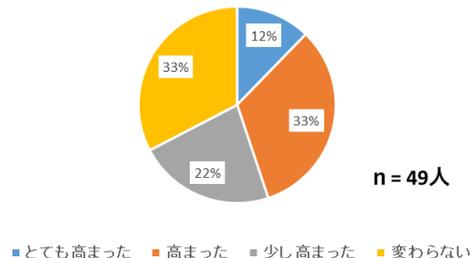


効果検証の結果

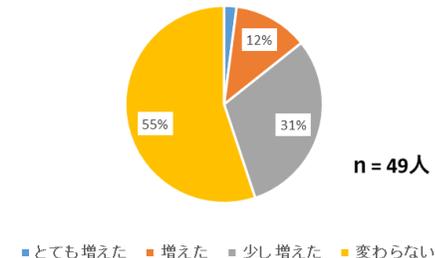
子供のスポーツに対する関心度

プログラム実施後の最終アンケートにより、67%のターゲットが「子供のスポーツに対する関心度が向上した」と回答し、45%が「子供とスポーツをする機会が増えた」と回答した。

本事業を通じた子供のスポーツに対する関心度
最終アンケート (1/15)



本事業を通じた子供とスポーツをする機会
最終アンケート (1/15)



スポーツ実施率向上に寄与する 動画コンテンツの把握

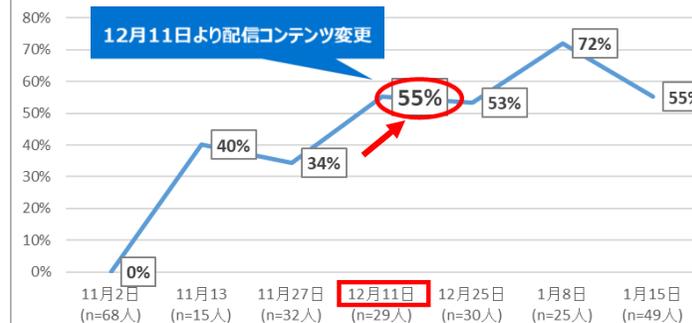
ターゲットに対して興味関心の高いコンテンツのアンケートを実施し、動画配信コンテンツを柔軟に変更。動画配信コンテンツの変更によりスポーツ実施率※が約20%上昇した。

$$\text{※スポーツ実施率} = \frac{\text{スポーツ実施者数}}{\text{アンケート回答者数}}$$

<動画配信スケジュール>

- 11月 6日：レノファ体操動画
- 11月20日：レノファ体操動画
- 12月 4日：レノファ体操動画
- 12月11日：体幹トレーニング動画**
- 12月18日：ヨガ動画**
- 1月15日：レノファ体操動画

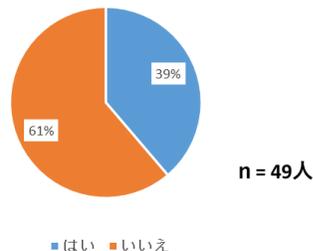
スポーツ実施率の推移



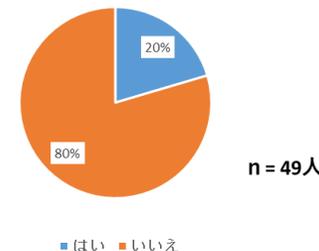
スケジュール管理・集金機能による スポーツ実施率向上

無料アプリ導入によるスケジュール管理機能や集金機能により、回答者の39%が負担軽減に繋がったと回答したものの、スポーツ継続に繋がったかを問うアンケートに対し「いいえ」と回答した人が80%となり、効果は限定的となった。

アプリが負担軽減に繋がったか？
最終アンケート (1/15)



アプリがスポーツ継続に繋がったか？
最終アンケート (1/15)



ターゲット…女性

3. スポーツ実施改善の要因の分析（阻害要因や促進要因の仮説検証）

「YMFG ZONEプランニング」

- イベントの開催によって「プロスポーツに対する興味関心の向上」や、「親子間のコミュニケーション活性化」が図れた。また、親と子供、プロスポーツチームのコミュニティを形成し、親子でスポーツに親しむきっかけを提供した。
- プロサッカー選手による体操動画配信等を通じてターゲットの阻害要因を解消することでスポーツ実施率の改善に繋がった。

スポーツ実施改善要因の分析結果概要

ターゲット	効果スポーツ実施の阻害要因、促進要因（事業実施前の仮説）	効果スポーツ実施の阻害要因、促進要因（検証結果）
少年サッカークラブに所属する子供を持つ保護者（女性）	<ul style="list-style-type: none"> • 育児でなかなかスポーツをする時間が作れない • 仕事や家事で疲れていて、わざわざスポーツを行う気になれない • 周囲の目が気になる（化粧がおちる、汗をかく、体のラインが見えるなど） • 手軽にできる運動方法が分からない。どんな運動をしたらいいか分からない • 一緒にスポーツできる人がいない • スポーツをするのにお金がかかってしまうイメージがある 	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><阻害要因></p> <ul style="list-style-type: none"> • 家事、仕事、育児 • スポーツへの苦手意識 • 一緒にスポーツする人がいない • 運動方法が分からない </div> <div style="width: 45%;"> <p><促進要因></p> <ul style="list-style-type: none"> • 子供と一緒にスポーツできるコンテンツであったこと • 簡単なスポーツであったこと • 自宅でできるスポーツであったこと </div> </div>

概要イメージ

イベント開催

①きっかけづくり

- ✓ イベント参加によりスポーツの楽しさや必要性について認識してもらう
- ✓ 親子サッカーにより子供と一緒にスポーツに関わる機会を提供する
- ✓ イベント内のレノファ山口FC選手交流会によりプロスポーツに対する興味関心を促す

体操動画配信

②ワクワク感・繋がり

- ✓ 子供と一緒にスポーツできるコンテンツ提供
⇒レノファ体操動画の配信
- ✓ 健康維持に繋がり、かつ自宅でできる簡単なスポーツ動画を配信
- ✓ ターゲットの関心の高いコンテンツを提供
⇒ヨガ動画配信

スケジュール・集金機能

③継続負担の軽減

- ✓ Webコンテンツにより以下を提供
 - 行事などのお知らせ機能
 - スケジュール管理機能
 - イベントなどの出欠確認機能
- ✓ 遠征費などの自動引落し

「親」「子供」「プロスポーツチーム」でスポーツに親しむきっかけを創出

ターゲットのスポーツ実施に対する阻害要因を解消

新たなスポーツの実施、継続に対する効果は限定的

スポーツ実施改善要因の分析結果詳細

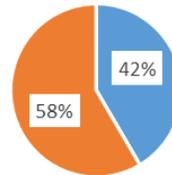
イベントの開催により、ターゲットにおける「親子のコミュニケーション活性化」、「プロスポーツに対する興味・関心の向上」、「親子でスポーツに親しむ機会の創出」がスポーツ実施意欲の向上に繋がり、体操動画配信コンテンツ閲覧への誘導

ターゲット…女性

事業①…イベント開催

- ① イベント参加者全員のスポーツ実施意欲が向上
- ② イベントの開催により、家族でのスポーツに関する会話やスポーツをする機会は、参加者の90%以上が「増えた」と回答
- ③ プロスポーツに対する興味関心についても90%以上が向上
- ④ 新たなスポーツ実施者に対するアンケートでは73%がイベント参加をきっかけにスポーツ実施に至っている

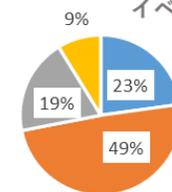
① 今後もスポーツをしたいと思えたか？
イベント後アンケート



n = 57人

■ とても思えた ■ 思えた ■ あまり思えなかった ■ まったく思えなかった

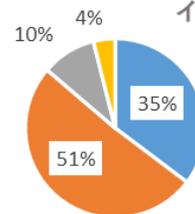
② 家族でスポーツの会話やスポーツをする機会が増えたか？
イベント後アンケート



n = 57人

■ とても増えた ■ 増えた ■ 少し増えた ■ 変わらない

③ プロスポーツに対する興味・関心
イベント後アンケート

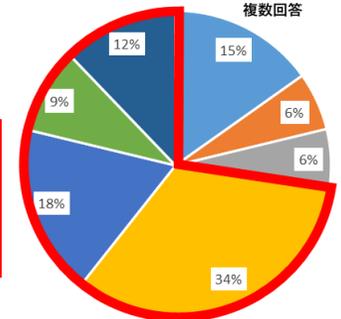


n = 57人

■ とても持てた ■ 持てた ■ 少し持てた ■ 変わらない

④ スポーツ実施のきっかけとなった実証コンテンツ
第6回アンケート (1/8)

- 動画配信(レノファ体操)
- 動画配信(体幹トレーニング)
- 動画配信(ヨガ)
- ママキッズイベント(親子サッカー)
- ママキッズイベント(サイン入りサッカーボールプレゼント企画)
- ママキッズイベント(レノファ選手質問コーナー)
- ママキッズイベント(レノファ体操)
- アプリ(スケジュール管理・出欠確認機能)による負担軽減
- 遠征費自動引落しによる負担軽減



n = 18人

※運動実施者のみ回答
複数回答

3. スポーツ実施改善の要因の分析（阻害要因や促進要因の仮説検証）

スポーツ実施改善要因の分析結果詳細

事業②…プロサッカークラブによる体操動画コンテンツ配信

ターゲット…女性

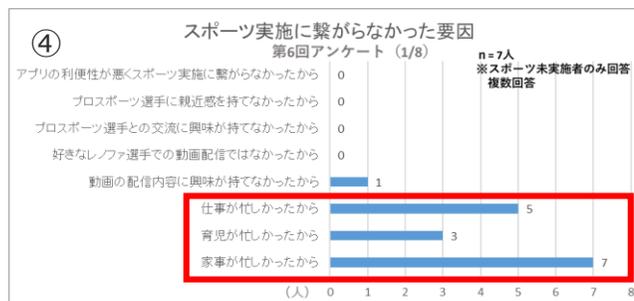
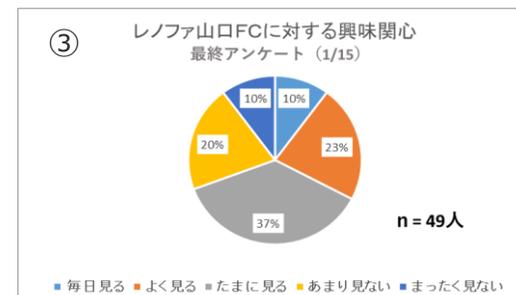
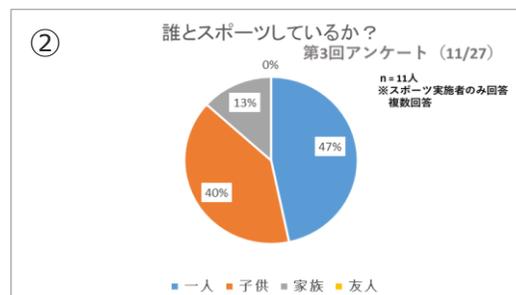
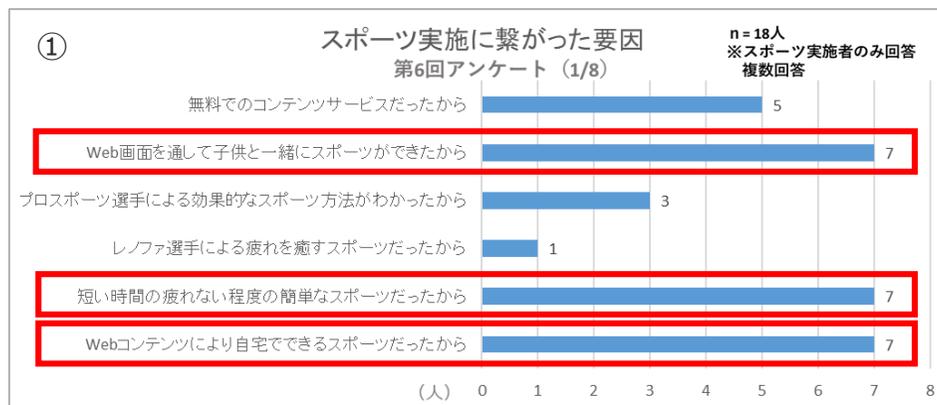
動画配信コンテンツの提供により、ターゲットのスポーツ実施における「家事、仕事、育児」、「スポーツへの苦手意識」、「一緒にスポーツする人がいない」、「運動方法が分からない」という阻害要因の解消に寄与した。

<スポーツ実施に繋がった要因>

- ①動画配信の結果、ターゲットのスポーツ実施状況の改善に寄与している要因として、以下3点が示唆された。
 - ・子供と一緒にできるスポーツであったこと
 - ・簡単なスポーツであったこと
 - ・自宅でできるスポーツであったこと
- ②アンケート結果より、スポーツ実施者の40%が子供と一緒にスポーツを実施していることから、子供と一緒にスポーツできるコンテンツは特に効果的であったことが分かる。
- ③また、ターゲットはレノファ山口FCに対する興味関心が高く、「レノファ山口FC選手による動画配信」というコンテンツ提供は効果的であった。

<スポーツ実施に繋がらなかった要因>

- ④スポーツ実施に繋がらなかった要因について、スポーツ未実施者に対しアンケートを実施したところ、「家事・仕事・育児」が多く挙げられたことから、「家事・育児・仕事」という阻害要因については、今後より効果的な施策が必要と考えられる。



より効果的な施策が必要

スポーツ実施改善要因の分析結果詳細

無料アプリを活用したスケジュール管理や遠征費の自動引落等によって、ターゲットの負担軽減やスポーツ実施・継続を図ったが、ターゲットのスポーツ継続において本コンテンツの優先順位は低く、効果は限定的であった。

事業③
スケジュール・集金機能
コンテンツ配信

ターゲット
女性

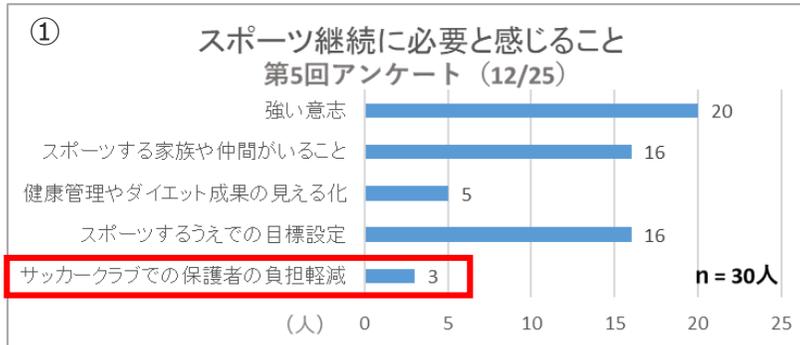
<スポーツ実施に繋がらなかった要因>

①スポーツ継続に必要と感じる事項についてアンケートを実施した結果、ターゲットにおいて「サッカークラブでの負担軽減」について優先度は低く、スポーツ継続に繋がる効果が低いことが判明した。

<改善策>

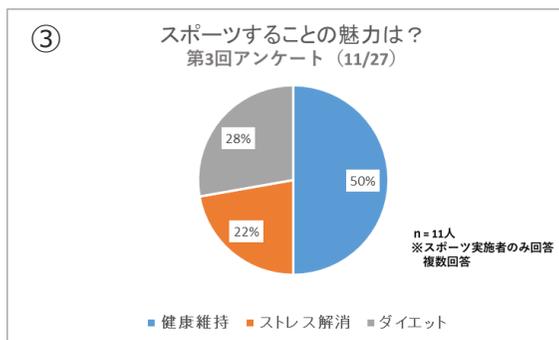
②スポーツ実施率改善に有効な機能についてアンケートを実施した結果、「トレーニング方法の紹介や自己管理機能」、「目標に向けたポイント機能」などのモチベーション維持向上に繋がり、スポーツ実施に直接的に訴求できる機能が有効であることが判明した。

また、レシピの配信については、スポーツ実施において魅力と感じている「健康維持」や「ダイエット」（※右図③参考）に繋がることからスポーツ実施率改善において有効な配信コンテンツであることが判明した。



② <アプリ機能としてどのような機能があると便利またはスポーツ実施に繋がると感じますか？> (回答)

- ✓自身の健康維持やダイエット、子供の体づくりに効果的なレシピの配信機能
- ✓トレーニング方法やカロリー消費目安を紹介する機能
- ✓体重やトレーニング時間の管理機能や、スポーツ実施回数によってポイントが貯まりプレゼント（レノファ山口FC選手サイン、イベント参加権利等）がもらえる機能
- ✓スポーツ実施タイミングのリマインダー機能
- ✓歩数計測機能



<p>事業継続や横展開に向けたポイント、課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本実証実験を通じて得た効果や改善策をもとに、Webコンテンツまたはアプリサービスの開発を検討し、小学生だけでなく中高校生へユーザーを広げることで将来的な自走化を目指す。 • 自走化にあたっては、ユーザーのニーズを把握し必要な機能を拡充する必要があるため、本実証実験で得た結果をもとにサービス内容の再検討およびサービス料金の検証を行うことで、次年度以降の横展開に向けた以下の方策実現を目指す。 <p><将来的な横展開に向けた方策></p> <ol style="list-style-type: none"> ①地域専門機関との連携によるアプリコンテンツの拡充 ②指導者教育によるスポーツ環境格差解消 ③事業エリアの拡大
<p>次年度以降の事業継続、横展開の計画</p>	<p><本事業で得られた成果に基づく改善策></p> <ol style="list-style-type: none"> ①動画配信コンテンツの内容改善 家事をしながらスポーツができる動画コンテンツ「ながらスポーツ」の配信。 ②アプリ機能の拡充 スポーツ実施率改善に向けたコンテンツ（レシピ配信など）機能拡充 ③スポーツ環境改善に向けた機能拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・クラブチーム間のマッチングサービス ・プロスポーツチームの選手やスタッフ派遣サービス
<p>今後の事業展開に向けて期待される sport in Life プロジェクトにおける取組</p>	<ol style="list-style-type: none"> ①コンソーシアム加盟団体の取組事例公開 コンソーシアム加盟団体の取組事例を公開することで、スポーツ促進に対する関心が、一般個人のみならず企業や各団体に広まり、本事業における連携先の拡大や横展開に繋がる。 ②コンソーシアム加盟団体の紹介・連携推進 他地域の取組事例や取組団体の紹介、また、本事業との連携により相乗効果が見込める事業に取組む団体の紹介や連携機会の創出。